

政策シート 政策名 10 動物園の再生

予算費目名 01 動物園費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

市民が憩い楽しめる動物園とするとともに、動物福祉の向上や環境保全の大切さを学べる施設としての運営を行う。
動物園再生基本計画の見直しを実施し、種の保存、動物福祉の向上、環境教育の推進を図るとともに、リピーターを増やす等、入園者数の増加を目指す。
老朽化した園内施設については、修繕等を順次進める。
また、継続してボランティア活動の拡充など、市民の動物園として市民が気軽に関わることができる運営を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑪都市	⑮陸上資源						
-----	-------	-----	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	726,625	348,192	419,924	408,006	504,272	567,896
決算	236,381	784,637	407,061	384,270	494,070	525,267
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	261,160	257,760	251,960	256,440	229,280	230,400
年間経費(予算又は決算+A+B)	497,541	1,042,397	659,021	640,710	723,350	798,296

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
入園者数	人	目標	375,000	375,000	385,000	390,000	395,000	400,000
		実績	322,855	276,163	365,349	370,342	301,701	312,715
イベント参加率	%	目標	30	30	30	30	30	30
		実績	33.2	28.7	20.6	18.8	21	21.7
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

動物園の再生に向けて運営の改善を続け、便益施設の増加、園路の舗装や植栽の整備を実施した。
飼育動物コレクションプランの見直しを実施し、展示動物種の見直し等図った。
動物園ボランティアを活用して、動物ガイドやイベント等の充実を図った。
キッチンカーの導入強化や館山寺総合公園全体でのイベントを実施して、フラワーパークとの連携を強化した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

新型コロナウイルス感染症の影響が低減し外出先の選択肢が広がったことにより、来園者数増加に至らなかった。また、ゾウ舎の活用方針が決まらず空き獣舎が目立つとともに、園内工事による園路封鎖等の実施による来園者満足度低下による影響もあり、目標達成とはいかなかった。
獣舎や便益施設の整備、展示動物の充実等、再生計画の見直しが必要。
また、獣舎等の老朽化等による詳細な改修計画及び長寿命化計画の検討も必要である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	動物園施設維持管理事業	-	○		342,425	185,885	20.5	0.9		3.5	
2	いのちの教育事業	-	-		24,733	2,193	3.1			0.3	
3	各種イベント開催事業	-	-		24,559	6,499	2.3			0.7	
4	傷病野生鳥獣保護事業	-	-		4,119	959	0.4	0.1			
5	動物購入事業	-	-		14,189	8,589	0.8				
6	施設整備事業	-	○		361,658	346,398	1.7			1.2	
7	公園敷地借上事業	-	-		15,309	13,909	0.2				
8	公園用地取得事業	-	-		700		0.1				
9	動物園施設整備基金積立金	-	-		733	33	0.1				
10	動物園デジタル運営経費	-	-		2,992	1,732	0.1			0.2	
11	動物園運営経費	-	-		6,879	1,699	0.7			0.1	
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					798,296	567,896	30.0	1.0		6.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 動物園施設維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

入園者が安全で安心して快適に利用できるように施設の維持管理を行い、あわせて市民への憩いの場を提供し、いのちの大切さ・きずなの尊さを伝え、豊かな社会性を養うことを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1983	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
事業とゴールの 関連性	汚水処理施設の管理運営により、園内で排出される水を浄化、再利用することで外部への排出を削減する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	140,388	150,858	141,383	161,111	155,747	185,885
	決算	140,010	144,677	140,266	152,935	149,078	181,726
	国・県支出						
	市債						
	その他	44,492	25,937	58,087	58,327	59,441	63,234
	一般財源	95,518	118,740	82,179	94,608	89,637	118,492
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		155,120	155,600	157,800	157,800	154,300	156,540
人工	正規	20.8	20.8	20.8	20.8	20.5	20.5
	再任用(31h)	0.7	1.3	0.9	0.9	0.9	0.9
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	1.9	3.2	3.2	2.7	3.5
年間経費(予算又は決算+A+B)		295,130	300,277	298,066	310,735	303,378	342,425

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
入園者数		目標	375,000	375,000	385,000	390,000	395,000	400,000
		実績	322,855	276,163	365,349	370,342	301,701	312,715
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・動物園施設の維持管理事業全般(業務委託を含む)
- ・展示動物等の飼養管理及び治療
- ・希少動物の飼育・繁殖及び調査研究

主な委託業務

- ・汚水処理施設維持管理業務
- ・飼料供給業務
- ・樹木管理業務

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・入園者数 312,715人
- ・繁殖動物 アビシニアコロブス、モルモット、カピバラ、カルガモ、オシドリなど。
- ・飼育動物等の獣医療で使用する体重計を導入した。
- ・飼養管理の効率化及び飼育作業環境の維持改善を図るため、洗濯機及び乾燥機等備品の更新を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことから、イベントや飼育実習生の受け入れを再開した。
- ・物価高騰による飼料費の増加、原油価格高騰の影響による燃料費及び電気料の増加。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
引き続き、入園者が安全で安心して快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。
新しくオープンした「いのちのふれあいゾーン」をPRしていくとともに、ふれあいイベントの開催や、教育プログラムの充実を図ることで、入園者数の増加を図る。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
引き続き、入園者が安全・安心・快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。
動物福祉に配慮した獣舎整備や来園者サービスの向上等、魅力のある動物園とするため、空き獣舎となっているゾウ舎の活用も含め、2016年9月に策定した動物園再生基本計画改訂版を策定する。
例年実施している園内の樹木管理について、範囲を拡大して危険な樹木等を調査し、伐採・剪定を実施する。

事業シート (事業名) 02 いのちの教育事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

いのちの教育及び動物飼育体験学習等の教育的事業の展開を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2014	—	一般会計	自治事務(法令義務)	動物の愛護及び管理に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育								
事業とゴールの関連性	動物等に関する教育プログラムの実施により、いのちの大切さや環境問題等の理解を深める。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	36,884	35,886	37,219	38,405	1,590	2,193
	決算	34,282	33,113	33,330	32,443	952	1,998
	国・県支出						
	市債						
	その他	165	115	33	60		
一般財源	34,117	32,998	33,297	32,383	952	1,998	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		70,520	66,200	57,960	62,440	22,540	22,540
人工	正規	9.2	8.6	7.6	8.0	3.1	3.1
	再任用(31h)	0.3	0.5				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.8	1.5	1.7	2.3	0.3	0.3
年間経費(予算又は決算+A+B)		104,802	99,313	91,290	94,883	23,492	24,733

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
教育活動実施回数(回/人)		目標	140/6,000	140/6,000	145/6,200	150/6,300	130/6,000	130/6,100
		実績	106/5,040	27/1,507	103/4,826	128/5,534	128/6,643	134/5,998
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

02

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・動物園に来園した幼稚園、保育園及び小学校に対し、教育プログラムを実施した。(106回)
- ・主に市内小学校で出前講座を行った。(28回)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

成果: 件数はほぼ計画通り、受講者は計画よりも増加した。

主に市内の園児及び小学生に対し、「いのち」とふれあう機会や「いのち」について考える機会を提供した。

課題: 次年度以降も受講者数を維持すること。

生物多様性、環境保全等を題材にした教育プログラムを整備し、事業拡充を図る。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた遠足等が再開され、受講者の増加につながった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

希少動物の繁殖は、種の保存のみならず動物園の魅力の拡大につながることから、状況を的確に判断して、最小の経費で導入し効果が上がるように努める。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

生物多様性、環境保全等を題材にした環境教育プログラムを整備し、事業拡充を図る。

事業シート (事業名) 03 各種イベント開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

入園者が各種のイベントに楽しみながら参加して、動物に関する知識を深めるとともに、動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらう。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1983	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育							
事業とゴールの関連性	動物関連イベントの実施により、動物に対する知識・関心ならびに動物園の役割について理解を深める。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	6,090	6,617	6,834	6,867	7,292	6,499
	決算	5,717	5,650	6,498	6,608	7,153	6,377
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,717	5,650	6,498	6,608	7,153	6,300
	一般財源 一般会計繰入金						77
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,760	5,460	5,320	5,320	17,500	18,060
人工	正規	0.6	0.7	0.6	0.6	2.3	2.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	0.7
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,477	11,110	11,818	11,928	24,653	24,559

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
イベント参加率(%)		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	33.2	28.7	20.6	18.8	21	21.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 03 10 01 002165000 03 動物園 齋藤 弘泰 2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・入園者を対象とした写生大会(春秋開催)、写真コンクール、特別企画として「どうぶつえん謎解きゲーム」を開催した。
- ・9月の各土曜日にナイトZOOを開催した(全4回)。
- ・2月2日(日)にフラワーパークと合同で「館山寺総合公園Day」を開催した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

2024年度は、春秋の写生大会、写真コンクールの開催に加え、特別企画として「どうぶつえん謎解きゲーム」を開催した。

また、2月にはフラワーパークと合同で「館山寺総合公園Day」(入園無料)を開催し、バックヤード体験隊やスタンブラリー等のイベントを実施した。雨天であったため来園者は2,196人であった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

夏の猛暑を考慮し、ナイトZOOを8月の土曜日から9月の土曜日の開催に変更した。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

長期的なイベントに参加してもらうことで、野生動物に関する知識を高めてもらい、動物愛護や自然保護に対する意識を持ってもらう。

また、来園者ニーズに対応したイベントを企画・開催するとともにオリジナリティのあるイベントを開催し、集客力を高めていく。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、動物園特別企画等を開催していく。毎年テーマを変えることにより、来園者に興味を抱いてもらい知識向上に繋げていく。

その他動物園独自のイベントや隣接するフラワーパークとの館山寺総合公園としてのイベントを拡充させるなど、来園者ニーズに対応する形で集客力を高めていく。

事業シート (事業名) 04 傷病野生鳥獣保護事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

静岡県から業務委託を受け、傷ついたり、病気を患った野生の鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然へ復帰させることにより、自然環境や生態系を保全する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(その他)	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑮陸上資源						
事業とゴールの関連性		負傷野生動物の保護、治療及び放鳥獣により野生動物の保護、多様性に寄与する。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	959	959	959	959	959	959
	決算	959	959	959	959	959	959
	国・県支出	959	959	959	959	959	959
	市債						
	その他						
	一般財源						
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,460	4,540	4,840	4,840	4,840	3,160
人工	正規	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(31h)	0.5	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.1	0.6	0.6	0.6	
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,419	5,499	5,799	5,799	5,799	4,119

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
傷病鳥獣自然復帰率(%)		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	22.6	20	27	17	30	33
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

04

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

静岡県からの業務委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり、病気を患った鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。
2024年度は鳥類6羽を受け入れ、2羽を自然復帰させることができた。
また、静岡県との協議・連携により、保護対象外鳥獣の持ち込み相談が減少。市民への啓発が進んでいる。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

2024年度傷病野生鳥獣保護状況

保護頭、羽数()内は自然復帰頭・羽数

・鳥類 6(2) …計6(2) 33%

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

鳥インフルエンザ等の家畜伝染病

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、契約内容に基づき受託事業を行う。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

保護された傷病野生鳥獣の収容・治療は、受託業務として動物園が行うが、保護の可否についての判断や治療後の放鳥獣は、県が行うこととなっている。

今後も市民などからの通報に適切に対応できるよう、県と連携し、情報の共有化と業務の適正化を図るとともに、市民への鳥獣保護思想の普及・啓発に努めていく。

また、委託料の増額について、県と協議していく。

事業シート (事業名) 05 動物購入事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

展示動物導入計画に沿った展示動物の購入及び他園との搬出入、動物交換などを行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1953	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育						
			⑮陸上資源					
事業とゴールの 関連性	飼育動物の購入又は他の園館との貸借等による交換により、希少動物の繁殖等を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,000	4,535	4,698	8,000	8,000	8,589
	決算	1,669	4,499	639	1,606	6,101	3,542
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,669	4,499	639	1,606	6,101	3,542
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	2,100	2,100	2,100	2,100	5,600	5,600
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.8	0.8
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,769	6,599	2,739	3,706	11,701	14,189

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
契約件数		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	5	8	3	4	7	6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

05

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

展示動物の充実・繁殖及び国内希少動物の種の保存を図るため、動物の新規購入、他園館等との交換及び貸借等を行う。

レッサーパンダ1頭を多摩動物公園より借り受けた。モルモット2頭を岡崎東公園より、オオカンガルー雄2頭を上野動物園より、オオカンガルー雌3頭を横浜市立金沢動物園より譲り受けた。また、カナダヤマアラシ2頭を購入した。さらに、当園で繁殖したオシドリ2羽をモルモット2頭を等価交換した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

2024年度実績

- ・借受: レッサーパンダ♂1(多摩動物公園)
- ・譲受: モルモット♂1♀1(岡崎東公園)、オオカンガルー♂2(上野動物園)、オオカンガルー♀3(横浜市立金沢動物園)
- ・購入: カナダヤマアラシ♂1・♀1
- ・交換: モルモット♀2(日本平動物園)
- ・預託: アンデスコンドル♀1(とくしま動物園)、オジロワシ♂1(円山動物園)、ハクトウワシ♂1(釧路市動物園)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症や家畜伝染病(豚コレラや鳥インフルエンザ等)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

希少動物の繁殖は、種の保存のみならず動物園の魅力の拡大につながることから、状況を的確に判断して、最小の経費で導入し効果が上がるように努める。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

飼育動物コレクションプランの見直しとともに見直した内容に沿って、飼育体制を整え、動物の導入を図っていく。

事業シート (事業名) 06 施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ユニバーサルデザインに配慮した、入園者が安全で安心して動物を観覧できるように施設の再整備を進め、併せて展示動物の生態、行動、福祉に配慮した飼育環境を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1983	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑤陸上資源							
事業とゴールの 関連性	獣舎及び展示場の整備、修繕など飼育動物の飼育環境を整え、動物福祉の向上を図り、来園者に動物に対する知識と理解を深めてもらう。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	511,419	112,238	209,504	173,926	313,866	346,398
	決算	33,717	559,777	207,057	171,984	313,297	314,121
	国・県支出		170,400	50,400	54,128	72,624	
	市債						6,900
	その他					232,000	307,000
	一般財源	33,717	389,377	156,657	117,856	8,673	221
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,920	16,580	15,400	15,400	15,260	15,260
人工	正規	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7
	再任用(31h)	0.5	0.6				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4	1.0	1.0	1.2	1.2
年間経費(予算又は決算+A+B)		50,637	576,357	222,457	187,384	328,557	361,658

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
整備件数		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	1	1
いのちのふれあいゾーンの整備		目標	実施設計・整備工事	整備工事				
		実績	実施設計・整備工事	整備工事完了				
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

06

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

2024年度の主な事業として、猛禽舎改修工事等を実施した。
委託業務としては、ミニサファリ改修工事実施設計等を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

主な工事

・猛禽舎改修工事

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を計画的に行う。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を行うとともに、獣舎の整備を実施、検討していく。

2016年9月に策定した動物園再生基本計画に基づき、汚水処理施設等、基盤施設の抜本的な整備を行う。

事業シート (事業名) 07 公園敷地借上事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来に向けて、引き続き館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	公有財産管理規則

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	16,497	15,952	14,511	14,511	13,997	13,909
	決算	15,951	14,995	14,017	13,917	13,909	13,909
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,951	14,995	14,017	13,917	13,909	13,909
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		17,351	16,395	15,417	15,317	15,309	15,309

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
公園内民有地の借り上げ契約率		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

07

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。

借地内訳

2024.4.1現在(2023.4.1現在)

借地面積 84,392㎡(84,392㎡)

所有者数 24名-25件(24名-25件)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

用地を借り上げるにより、館山寺総合公園として市民等に憩いの場を提供することができた。

また、動物や花木を通して多くの人に感動を与え、いのちの大切さや自然環境保護を伝える事業が安定的に継続できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

館山寺総合公園の安定的に継続して運用するため、浜松市資産経営推進方針に基づいて、適正な価格で借地契約を行う一方で、予算を投入し借地の解消に努める。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

館山寺総合公園用地の借地地権者からの土地買取り申し出に対しては、借地解消に向けて積極的な取得を進める。

事業シート (事業名) 08 公園用地取得事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来に向けて館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため、現在の借地を買収し市有地とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1983	—	一般会計	自治事務(その他)	公有地の拡大の推進に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市								
事業とゴールの 関連性	継続的に公園用地の取得に努め、動物園の安定的な運営と利用者の利便の向上を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,168	20,212	2,350	766		
	決算	2,126	20,210	2,349	764		
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,126	20,210	2,349	764		
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,826	20,910	3,049	1,464	700	700

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
公園内民有地借上げ契約数		目標	28	26	25	25	25	25
		実績	28	26	26	25	25	25
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

08

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得交渉を行なった。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

借地契約件数25件中、売買契約の成立0件。

○2013年当初借地総面積244,435㎡中、借地解消面積160,043㎡ 合計執行率 65.4%

○2013年当初借地料54,128,448円は2021年度借地料13,916,579円となり、40,211,869円の借地料を減額できた。

減額率74.2%

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して本事業を実施し借地解消を図る。

事業シート (事業名) 09 動物園施設整備基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市動物園施設整備基金の適正な管理をおこなう。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1970	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市動物園施設整備基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育	⑮陸上資源
事業とゴールの関連性	動物の購入や獣舎及び展示場の整備、修繕など飼育動物の飼育環境を整え、動物福祉の向上を図り、来園者に動物に対する知識と理解を深めてもらう。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2	1	1	8	1	33
	決算	2	1	1	7		33
	国・県支出						
	市債						
	その他	2	1	1	7		33
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		702	701	701	707	700	733

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

09

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、基金運用収入を積み立てる。元金に対する運用収入が確定(0円)した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

不明

施設整備基金 現額 15,575,428円(2024年3月末現在) 上半期利子0円 下半期利子0円 計0円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

現状

小項目

現状

事業費

現状

人工

現状

引き続き、基金の管理を継続する。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

現状

小項目

現状

事業費

現状

人工

現状

基金の管理を継続する。

事業シート (事業名) 10 動物園デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

動物園のデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

④イノベーション								
事業とゴールの 関連性	デジタル化によりわかりやすい情報発信を実施し、持続的な産業化を目指す。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,178	1,523	1,182	1,732
	決算			889	1,496	1,137	1,006
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			889	1,496	1,137	1,006
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,260	1,260	1,260	1,260
人工	正規			0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.2	0.2	0.2
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,149	2,756	2,397	2,992

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

10

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

3ヶ国語対応ガイドアプリによる動物園ガイドの実施。
スマホタブレット導入による教育プログラム、出前講座への活用。また、SNS等を活用した園内動物の情報発信。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

ガイドアプリ(GOOZEN)により3ヶ国語(英語・中国語・日本語)による動物園の施設や動物のガイドサービスを提供。

ツイッターを活用した動物園の情報発信(フォロワー数8,000人)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

SNS等を活用して動物園情報を発信していくことにより、なるべく多くの方に興味を持ってもらい、来園者の増加に繋げる。

事業シート (事業名) 11 動物園運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全で適正な施設管理運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1983	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑯陸上資源								
事業とゴールの 関連性		職員が各種研修等に参加することで資質の向上を図り、いのちの教育プログラムを充実、 発展させる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,218	934	1,287	1,930	1,638	1,699
	決算	1,948	756	1,056	1,551	1,484	1,596
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,948	756	1,056	1,551	1,484	1,596
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,480	4,480	4,480	4,480	5,180	5,180
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,428	5,236	5,536	6,031	6,664	6,879

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2024年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

03

03

10

01

002165000

11

動物園

齋藤 弘泰

2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

各種会議に出席し、他園館での施設管理や飼育に関する技術事案等について、意見交換や情報収集を行い業務を遂行する上で必要な知識を高め当園職員で共有することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各種会議等が概ね現地開催となった。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。